

## スポーツ教室「夢や目標に向かって」

### ガイナレ鳥取 内間安路さんの話を聞きました

羽合小学校の子ども達に、スポーツを通して夢や目標を持ち、アスリートの生き方やその実現のために努力することの大切さを学んでほしい。スポーツを身近に感じ、運動することの楽しさを子どもたちに伝えたいという思いから、今年はオリンピック・パラリンピック教育推進校に手を挙げ、さらに鳥取県のトップアスリート事業にも申し込みをしました。空手の世界選手権で優勝した宇佐美里香元選手にも、羽合小学校に来校してもらうことがすでに決まっています。

その一段として、9月18日に地元ガイナレ鳥取の元ディフェンダー(センターバック)の内間安路さんをお招きし、5年生を対象にしたスポーツ教室を開きました。

ちなみに「ガイナレ鳥取」は1983年に創設された「鳥取教員団サッカー部」が前身で、2007年2月にJリーグ準加盟が承認され、「ガイナレ鳥取」に改称し2011年にJリーグへ入会。チーム名の「ガイナレ(GAINARE)」は、島根県の東部から鳥取県の西部にかけての方言で「おおきい」という意味の「がいな」と「大きなチームになれ」との願いを込めて決められたそうです。現在J3リーグ戦が行われており、ブラウブリッツ秋田、ロアッソ熊本に次いで9勝3敗3分勝ち点30の第3位の好位置につけているチームです。

内間さんは沖縄県出身。小学校高学年の頃は「海人(漁師)」になることが夢だったそうです。沖縄いたときにはサッカーでは、優勝するような成績を残したわけではありましたが、持ち前のガッツと探求心で高校・大学とサッカーを続けプロのサッカー選手として活躍された方です。

「今夢がない人もいると思う。小学生の今は、夢がなくてもいいよ。好きなことを全力でやってもっと好きになることが大事」「今夢がある人は一歩踏み出すこと、夢は見ているだけでは叶わない」「夢は無理に持つものではなくて、途中で変わっても全然OK」「一番下手なJリーガーと雑誌に紹介された。でも夢は毎日に喜びを与えるもの、やりがいを与えてくれる大切なもの」「鳥取県にいるから夢が叶わないわけじゃない」「大切な人の言葉 夢にときめけ!」これまで自分の生きてこられた経験を子ども達にわかりやすく話してくださいました。

その後、当日は雨天だったため体育館で、サッカーの運動要素を取り入れた楽しい活動をたくさん行いました。本当に楽しそうに汗をかきながら取り組み、活動後には、みんなで集合写真を撮り、別れを惜しんでいました。

内間さんのお話は、子どもたちの心に響くものがあつたと思います。今の自分を、そしてこれからの自分を考えることができた素晴らしいスポーツ教室でした。

